

## 海外グループ会社

### ゼオンケミカルズシンガポール社 (ZCS)

#### 会社紹介

シンガポールのジュロン島は複数の小さな島と周辺の海を埋め立ててつくられた島であり、石油化学工業のために原油の精製から段階的に分けられる化学物質を利用して製品を生み出す化学企業が集結しています。ゼオンケミカルズシンガポール社(ZCS)は、合成ゴムのグローバル生産拠点として2010年12月に設立し、2011年9月ジュロン島で建設工事を開始、2014年1月に商業生産を開始しました。同年12月から第2生産ラインの増設工事をを行っています。工場では、主に自動車の低燃費タイヤの材料となるS-SBR(溶液重合法スチレンブタジエンゴム)とLiBR(末端変性ブタジエンラバー)を製造しています。出荷市場はアジアだけでなく、欧米も含めた世界全体をターゲットとしています。当社独自の技術を生かし、自動車産業の成長とともに発展していきます。



朝比奈 宏社長



ゼオンケミカルズシンガポール社

#### 環境安全活動

##### 1. 労働安全の取り組み

安全衛生委員会活動などを通じて、環境安全活動を推進。2014年はシンガポール労働安全認証(SS506、OHSAS18001を含む)を取得しました。

##### 2. 環境関連データ

ゼオンケミカルズシンガポール社(ZCS)		2014年度
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	0
	埋立処分量(トン)	0
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m <sup>3</sup> )		312
CO <sub>2</sub> 排出量(トン)		39,180
エネルギー使用量(原油換算、kL)		17,575

#### 地域との共生活動

現地採用の従業員が9割以上を占めており、雇用を通じて地域コミュニティの発展に貢献しています。また、プラント運転の主要な役割を担う3割の従業員には、日本の工場でのプラントの運転管理を学んでいただいております。技術移転に貢献しています。